

美里町新中学校整備等事業

基本設計書 概要版

敷地概要

所在地	宮城県遠田郡美里町字新峯山地内
敷地面積	図上計測 39,809.73 ㎡、登記面積 38,515 ㎡
用途地域	都市計画区域内未線引、用途指定なし
建蔽率、容積率	70%、200%
防火・準防火地域	指定なし、建築基準法第 22 条区域
立地	・現況は農地で、JR 小牛田駅から約 450 m と近接立地 ・アクセス道路は町道小牛田南郷線で、計画地は当該道路に接道
法規制等	・農振農用地宮城県農地整備事業完了地区 ・洪水時浸水深 0.5 m ～ 3.0 m 未満

(令和 3 年 6 月 美里町新中学校整備等事業 募集要項より)



① 駅東線から敷地を望む



② 駅東 2 号公園



③ JR 小牛田駅から学校に向かう歩道



④ JR 小牛田駅 ロータリー



新中学校敷地およびその周辺図



立面コンセプト

【「まち」のようなボリューム構成と、田園風景と調和する水平デザインにより、美里町に新たな風景をつくる】

デザインの考え方① 「まち」のようなボリューム構成

建物外観はひとかたまりの建物とせず、各機能ごとに分節したボリュームが寄り集まったような構成とし、中の活動の多様性を感じさせる「新たなまち」のような外観とします。建物配置は、建物の圧迫感と町との連続性に配慮し、前面道路と校舎間を適切な距離感とした計画とします。

デザインの考え方② 田園風景と調和する水平デザイン

屋根や庇、水平連続窓などで水平線を強調し、その間に「ゆらぎ」のある開口部をリズムカルに配することで、田園風景との調和を図ります。ピロティ、庇下などの中間領域を周囲にめぐらせることで、学校の活動の様子が周囲から見えるような構成とします。



駅東線からみた南西側のファサード全景



グラウンド側からみた南東側のファサード全景



小牛田南郷線からみた北西側のファサード遠景

① まちとつながる学校

- 小牛田駅から学校敷地へと延びる駅東線の正面に校舎を寄せた配置とすることで、学校がまちへ「顔を出し」、生徒の様子や学校のにぎわいがいつでも感じられる「**地域にとって身近な学校**」にします。
- 学校と地域をつなぐ「**みさとひろば**」を整備し、生徒の登下校時の交流の場や、マルシェなど地域のイベントの場として、地域と学校の接点をつくります。

② 一体感があり出会いと交流を最大化する学校

- 校舎、屋内運動場、武道場、給食棟、プールをひとつに集約したコンパクトな建物とすることで、どこにいてもお互いの活動の様子が感じ合える一体感ある構成とします。
- また動線が短くて使いやすく、各機能の連携がしやすい高機能かつ多機能な校舎を実現します。

③ 学校と地域の多様な活動を可能にする屋外空間

- コンパクトな建物とすることで屋外活動空間を最大化、各競技フィールドの重なりを小さくし部活動を充実化します。
- 誰でもいつでも気軽に身体を動かせる**軽運動場**を整備し、スクールバス通学等による運動不足解消に寄与します。
- 地域住民も利用できる運動・交流の場となり、「**スポーツを通じた地域創生**」（住民からの意見等とりまとめより）に寄与します。

④ 歩車分離の徹底

- 生徒の出入口と車両出入口を明確に分け、歩車分離を徹底します。
- 駐車場は利用者と来校目的に応じて使い分けられるよう敷地内に分散配置します。
- 来客用駐車場は、朝の送迎時の渋滞緩和のため、車両出入口を2箇所設け、一方通行で通り抜けていく車両動線を計画します。
- 給食室への搬入などサービス動線は、北東側で完結し、生徒の動線と交差しない安全な計画とします。

全体配置図
1/800